

活用型情報モラル教材



ワークブック

アドバンスト

2025

ソサエティ Society5.0で私たちの暮らしはどう変わるのでしょうか。

アーティフィシアル インテリジェンス インターネット オブ シングス
AI (Artificial Intelligence、人工知能) やIoT (Internet of Things、モノのインターネット)、ロボット技術の発達によって、様々なデータを共有し、最適な情報を最適なタイミングで受け取ることができたり、人間に代わってロボットが様々な作業を行ってくれたりすることが期待されています。

ソサエティ Society5.0

AI 家電



自動運転



介護ロボット 遠隔医療



スマート農業



ドローン物流



考えてみよう

10年後、社会はどのように変化していると思いますか？ 便利になっているといいなと思うことを話合ってみましょう。



端末等の活用が進むことで学びはどう変わるの？



学校の授業では

- ・自分の考えや意見をわかりやすくまとめたり、表現したりすることができる
- ・自分の考えをクラスの友達と共有したり、フィードバックを受けたりすることができる
- ・クラスの友達以外の人たちとのコミュニケーションができる
- ・自分のレベルにあった問題を解くことができる
- ・一生懸命つくった作品を保存して成長をふりかえることができる



家庭では

- ・学校の授業内容について予習・復習したり、さらに調べたりすることができる
- ・学校が臨時休校になったときに、学び続けることができる
- ・学校が臨時休校になったときに、先生や友達とつながることができる



上手に使うためのルールやマナーを考えましょう

1 どのようなトラブルが考えられるでしょうか

1

友達にテキストで
意見を伝えるとき

2

写真や動画を使って
制作するとき

3

オンライン（遠隔）
で学習をするとき

4

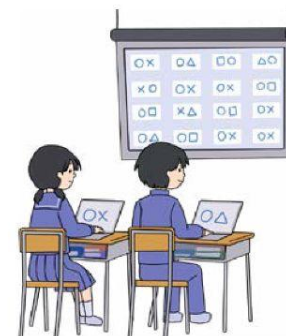
家に持ち帰ったとき

2 どのようなルールやマナーが必要でしょうか

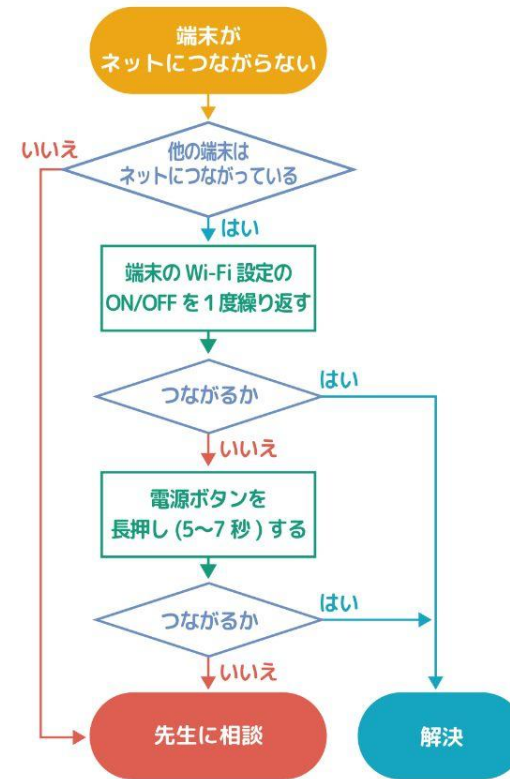
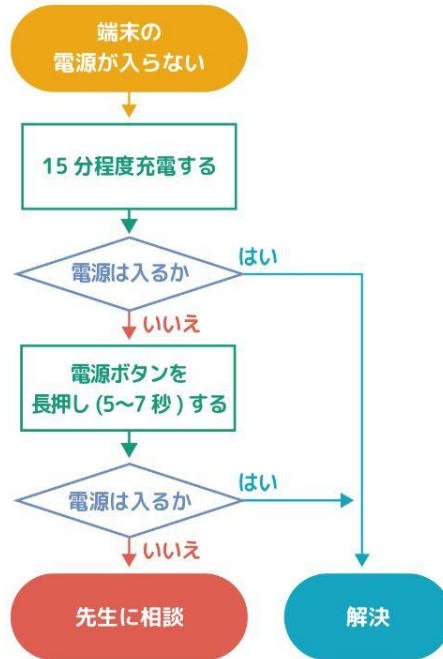
① 学習で端末を使うとき

② オンライン（遠隔）で学習をするとき

③ 家に持ち帰ったとき



！ こんなとき、どうする？



今後、皆さんにつけてほしい力

- 数ある情報から、自分が必要なもの、信用できるものを判断する力
- 他者のことを想像しながら、発信する力
- 問題解決のために情報を活用していく力

トラブルにあわず、上手に活用するために、このノートで学んでいきましょう。

活用型情報モラル教材
GIGAワークブック
アドバンスト
2025

ver.1.0

発 行 日 2025年2月28日

制 作 一般財団法人LINEみらい財団
静岡大学教育学部准教授 塩田真吾
常葉大学教育学部講師 酒井郷平
アラサキデザインスタジオ

協 力 ソフトバンク株式会社
LINEヤフー株式会社

LINE みらい財団

SoftBank

YAHOO! きっず
JAPAN

SoftBank
Robotics

- ・本教材は、東京都教育委員会と一般財団法人LINEみらい財団との共同研究による成果物「SNS東京ノート」をベースとして、GIGAスクール構想に対応した内容を加えています。
- ・本教材の著作権は、一般財団法人LINEみらい財団が保有しています。
- ・本教材は、児童・生徒・保護者への啓発・教育を目的として、無償で提供する場合に限り、自由に利用することができます。これ以外での2次利用はおやめください。